

＜国際教養学科＞(認定課程:高一種免(公民))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育者として必要な国際教養を身につける</li> <li>・教育者としての教育観、職業観を身につける</li> <li>・高等学校教諭一種免許状(公民)の取得に向けた情報収集ができる</li> <li>・「社会学入門」「経済学入門」などの科目を通して、公民教育の対象領域の一端を理解できる</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民教師としての適性を自己判断し、計画的な学習を計画できる</li> <li>・公民教師になるための意欲を確認し、教師になることを決意できる</li> <li>・「政治学Ⅰ」「倫理学Ⅰ」などの科目をとおして、公民教育の専門領域の内容を理解できる</li> <li>・「日本国憲法」を通じて、日本社会の法制度的な枠組みが理解できる</li> </ul>
2年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎法学(含国際法)」「経済学Ⅰ(マクロ・ミクロ)」「哲学Ⅰ」などの科目をとおして、公民教育の専門領域の内容を理解できる</li> <li>・各種のフィールドワーク系の科目を受講し、現場での情報収集や分析の方法について理解できる</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行政法」を通じて、法制度のより深い理解ができる</li> <li>・「経済学Ⅱ(含国際経済学)」「ポストコロナリズム/ナショナリズム」などの科目をとおして、世界規模の社会的課題について理解ができる</li> <li>・フィールドワークのより実践的な手法について学び、自らの教材開発に活かすことができる</li> <li>・ボランティア活動などの社会活動に参画し、教育者としての社会参画について検討することができる</li> </ul>
3年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会科教育法Ⅱ(社会・公民分野)」において、模擬授業を設計し指導案を作成することができ、実際に授業を実施することができる。</li> <li>・「行政学」「政治学Ⅱ」などの科目をとおして、公民教員としての自らの専門領域について理解できる</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会科教育法Ⅳ(公民)」において、授業を評価するための基本的な知識を習得できる</li> <li>・「都市計画法」「地方自治論」「哲学Ⅱ」などの選択科目を履修することによって、公民教員としての専門領域の拡大と深化に努めることができる</li> <li>・「哲学Ⅱ」などの科目をとおして、人間教育に関する重要な事項を再確認できる</li> </ul>
4年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業論文の構想・検討作業をとおして、公民教育についての課題を設定し、検討することができる</li> <li>・「比較環境政策」「国際関係論」「開発経済学」などの科目をとおして、世界的規模で生じている社会問題の応用的領域について理解できる</li> <li>・資料やデータの判読や解析において、コンピューターの利用ができる</li> <li>・教育実習をとおして、公民の実践的な指導能力を習得、発揮できる</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業論文を完成することによって、公民教育についての方法的検討を通じて自らの課題に結論を導き出すことができる</li> <li>・教育実習を振り返り、実践的な教育力について理解を深めるとともに、教育者としての自己の強みと弱点を客観的に評価できる</li> <li>・教育者として社会に出ていくために身につけておくべきことについて反省的に検討し、教育者としての万全の準備を整えることができる</li> </ul>